

番号：151152

国名：アフガニスタン

担当：アフガニスタン事務所

案件名：カブール市道路建設管理能力強化プロジェクト詳細計画策定調査（道路建設管理）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：道路建設管理
- (2) 格付：3号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2016年2月中旬から2016年4月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.8M/M、現地 0.23M/M、合計 1.03M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
10日	7日	6日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：2016年1月27日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(<http://www.jica.go.jp/announce/information/20150618.html>))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 15点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	道路建設管理に係る各種業務
対象国／類似地域	アフガニスタン／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

アフガニスタン・イスラム共和国（以下、アフガニスタン）の都市は、3.9%の人口増加率であり、周辺アジア諸国の平均の倍という急激なペースで都市化が進行している。特に、首都カブール市では、1999年に約200万人であった人口が、現在では推計で約500万人とも言われており、今後もこの傾向は続き、2025年には650万人に達するという予測もある。人口増加に伴い、自動車登録台数も2012年～2013年の1,762,357台から2013年～2014年には1,834,315台と年4%の勢いで増加しており、交通渋滞も悪化している。タリバン政権崩壊後、日本を始めとするドナーの支援により市内道路はおよそ300km整備されたが、メンテナンス不足による老朽化や人口増加に伴うさらなる道路整備の需要が高まっており、道路整備状況は十分とは言えず、円滑な都市交通を構築する上で大きな弊害となっている。また、道路の維持管理についてもカブール市には重要な役割が求められているが、長期にわたる不安定な治安情勢や市の行政能力不足から十分な成果が得られていない状況にある。

これらの課題へ対応するため、JICAは2010年5月から2015年5月にかけて「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト」を実施し、その一つのサブプロジェクトとして「既存カブール市道路整備サブプロジェクト」を実施した。サブプロジェクトでは、パイロット事業により約27kmの道路を整備することを通じて、11名の市職員に対して道路設計、施工監理、調達等の研修を実施し、さらにそれらの職員が同僚職員90名に対し研修内容の水平展開を実施した。また、維持管理については、維持管理部門の職員18名に対する実習研修を実施し、110名の同僚職員へ水平展開の研修を通じて基礎的な技術レベルが習得した。その結果、カブール市役所に道路維持管理課が新たに設立され、予算や人員も拡充されつつある。一方で、これまでの研修の成果は、基礎的レベルに留まっているため、今後カブール市役所が中心となって、事業を進めるためには、国際水準に沿った道路建設事業実施体制の強化や、計画的に道路維持管理を実施していくための維持管理計画、予算計画、維持管理体制の確立、人材育成能力の強化等について、引き続き専門家による実践的な支援が求められている。なお、世銀は都市交通分野でKabul Urban Transport Efficiency Improvement Project (KUTEI)を2014年から2019年までの期間で実施中であり、主に道路の改修事業に必要な詳細設計と事業実施が中心的な活動となっており、道路工事情質の向上に向けた本件との連携も期待される。

本件は、上記を背景として、カブール市の道路建設や維持管理に係る中長期計画の策定・資金計画、詳細設計監理、施工監理、維持管理等の実施管理能力のさらなる技術向上を目的とした研修を中心とする「カブール市道路建設管理能力強化プロジェクト」

ト」(以下、本プロジェクト)としてカブール市から要請されたものである。

今回実施する詳細計画策定調査では、本プロジェクトの実施に向けて、要請背景・内容の確認、関連情報の収集を行ったうえで、プロジェクトの実施体制、実施内容等についてカブール市と協議、合意し、その内容を協議議事録(M/M)として取りまとめ署名・交換するとともに、事前評価を行うことを目的とする。なお、本プロジェクトの実施に当たっては、第三国や本邦における遠隔管理の実施体制が求められていることにも十分留意しながら、プロジェクトの実施方針を検討するものとする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のための必要な以下の調査を行う。

なお、アフガニスタンの不安定な治安状況を鑑み、本詳細計画策定調査は、第三国(10. 特記事項(1)参照)にてC/P等アフガニスタン政府関係者を招聘して実施するものとする。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間(2016年2月下旬～3月上旬)

- ① 要請背景・内容を要請書、関連報告書等から把握する。
- ② 担当分野に係る関連既存資料・情報をレビューする。
- ③ 担当分野に係る我が国及び他ドナーの協力状況・成果をレビューする。
- ④ 担当分野に関する調査計画・方針案を検討する。
- ⑤ PDM(Project Design Matrix)(案)(英文)、PO(Plan of Operation)(案)(英文)の担当分野に関する部分を作成する。
- ⑥ 担当分野について、現地調査で収集すべき情報を検討し、関係機関に対する質問票(英文)を作成する。
- ⑦ 対処方針会議や現地との事前TV会議等に参加する。

※第三国での現地調査かつ時間が限られていることから、現地調査で確認する以下(2)②の項目についても、可能な限り国内準備期間中に着手し、メールやTV会議等を通じて先方機関から情報収集する。

(2) 現地派遣期間(2016年3月上旬～3月中旬)

- ① JICA事務所等との打ち合わせに参加する。
- ② 担当分野に係る資料・情報収集及びアフガニスタン側関係機関との協議・ワークショップにより、現状把握と課題の整理を行う。想定される項目は次のとおりだが、これ以外にも調査すべき項目がある場合にはプロポーザルにて提案する。

ア) カブール市の道路建設計画、各種指針や規定、設計施工基準、標準仕様、ガイドライン等及びその課題

イ) カブール市の道路建設に係る実施体制(組織、人員体制、役割分担、予算・財政状況等)及びその課題

ウ) これまでの協力による職員の能力達成状況の確認と今後強化されるべき分野の整理

エ) 道路建設における環境社会配慮に関する規定やガイドライン

- オ) 道路建設施工にかかる調達方法および民間業者の施工管理能力
- 力) 他ドナーの道路建設分野への支援状況（概要、実績、進捗、計画等）
- キ) 公共事業省の実施する道路建設事業との役割分担の状況
- ③ 上記②を踏まえ、他団員の調査結果も参考にしつつ、本プロジェクトの協力内容、実施体制を他団員と共に検討する。
- ④ 「評価分析」団員がカブール市職員に対して行う問題分析のワークショップ等に協力し、プロジェクトの方向性を検討する。
- ⑤ 「評価分析」団員が取りまとめる PDM 案、PO 案（いずれも英文）に対し、担当分野に関して作成に協力する。
- ⑥ JICA の調査団員が取りまとめる M/M 案（英文）に対し、担当分野に関して協力する。
- ⑦ 担当分野に係る現地調査結果を JICA 事務所に報告する。
- ⑧ 担当分野に関して事業事前評価表（案）の作成に協力する。

（3）帰国後整理期間（2016 年 3 月下旬～4 月上旬）

- ① 事業事前評価表（案）作成に協力する。
- ② 帰国報告会、国内打ち合わせに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③ 担当分野に係る収集資料の整理・分析（収集資料リスト作成、質問票回答の取りまとめ等）を行う。
- ④ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）を作成する。

8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

- （1）担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）
電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

（1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積りに計上してください）。

航空便経路：成田ーデリー直行

（2）一般業務費

本件業務は、治安の関係で第三国での調査実施業務となるため、アフガニスタンにおける調査補助を目的とする現地調査補助員の備上を認めます。見積書には、以下の費目及び金額をそのまま一般業務費として計上してください。

- ① 特殊傭人費：12,500 円/日×60 日＝750,000 円（現地調査補助員）
- ② 旅費交通費：60,000 円（現地調査補助員国際航空賃）、20,000×7 日＝140,000 円（現地調査補助員日当宿泊費）
- ③ 通信・運搬費：2,000 円×25 日＝50,000 円（通信費）、20,000 円（資料等送付費用）

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間の詳細は今後調整されますが、2016年3月上旬～2016年3月中旬を予定しています。なお、現地調査は治安の関係上、アフガニスタンではなく第三国（インド・デリーを予定）で実施予定です。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成（予定）は、以下のとおりです。

ア) 総括（JICA）

イ) 協力企画1（JICA）

ウ) 協力企画2（JICA）

エ) 道路建設管理（コンサルタント・本公示分）

オ) 道路維持管理（コンサルタント・別途公示）

カ) 評価分析（コンサルタント・別途公示）

③便宜供与内容

当機構による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 通訳備上

なし（必要に応じ、事務所のナショナルスタッフが対応）

オ) 現地日程のアレンジ

あり

カ) 執務スペースの提供

なし

(2) 参考資料

①本プロジェクトの要請書を当機構南アジア部南アジア二課(TEL:03-5226-8646)にて配布します。

②本に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト

(<http://libopac.jica.go.jp/>)で公開されています。

・「カブール首都圏開発計画調査最終報告書 和文要約」

http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/11965118_01.pdf

・「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト 既存カブール市道路整備サブプロジェクト業務完了報告書」

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000020907.html>

・「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト 終了時評価調査報告書」

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/12233748.pdf>

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②インド国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAインド事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ③「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年11月）」の趣旨を念頭に本業務を実施ください。
なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談下さい。

以上